

新型コロナ「第8波」年内ピークアウト&大流行しないは“早計”だ 今後注視すべき2地域のデータ

2022. 11. 25 日刊ゲンダイ



過去2年間、冬に大流行した新型コロナ。今年も感染者が増えはじめ、「第8波」に突入したとみられている。ところが専門家からは、もうすぐピークアウトを迎える、との指摘が出ている。この冬は大きな流行は起こらず、このままピークアウトするのだろうか。

新型コロナウイルス対策を政府に助言する厚労省の専門家組織は

22日、会合を開き、感染状況について「地域差や不確実性はあるものの増加速度に鈍化がみられ、ピークを迎える可能性もある」との見解をまとめた。

実際、21日までの直近1週間の新規感染者は、全国で1.18倍と、増加ペースは16日時点の1.24倍から低下している。

2020年から21年の「第3波」は、21年1月にピークを迎え、21年から22年の「第6波」は22年2月がピークだった。

この冬の「第8波」は、年を越すことなく年内にピークアウトするのか。

■専門家組織が見解

医療ガバナンス研究所の上昌広理事長がこう言う。

「ピークアウトするのかどうか、分からない、というのが答えです。というのも、日本より流行のスタートが一足早いフランスやイギリス、イタリアは、いったんピークアウトしたのに、再び感染者が増えはじめています。もし、この先、それらの国で大きな波が起きたら、日本もピークアウト後、年末年始に感染者が急増する可能性があります。もう一つ、東アジアの感染状況も注視する必要があります。過去、東アジアの感染状況は、同じ傾向をたどっているからです。韓国の感染者は横ばいですが、中国は増えています。これまで政府の専門家組織のシミュレーションは、外れているので、あまり期待しすぎない方がいいかも知れません」

専門家のなかには、足元の感染拡大は「第7波」の主流だったオミクロン株 BA.5 型が再燃している状況で、本格的な「第8波」は、オミクロン株の新たな亜型 BQ.1 型が拡大した時に起こる、という見方もある。まだまだ甘くみない方がよさそうだ。